

令和3年度仙台市図書館事業報告書

～仙台市図書館振興計画(第二次)に基づく事業の実施状況～

令和4年9月

教育局市民図書館

目 次

総括 / 仙台市図書館協議会の意見 1

方向性 1 地域や市民に役立つ図書館となるために

- (1) 文化的で豊かな生活を営む基盤としての図書館サービスに取り組みます 2
【教養や楽しみとしてのニーズに応え、生涯を通じた学びを支えるサービスの提供】
【資料を介在とした地域社会の中での落ち着いた居場所としての機能と新たな活力を生み出す場づくり】
- (2) 課題解決に取り組む市民を応援します 3
【様々な課題解決に役立つ資料や情報の積極的な収集・保存・提供】
【レファレンス機能の充実】
【課題解決型情報支援サービスの充実】
【地域の専門機関との連携】
- (3) 情報化社会の進展に合った情報提供の充実を図ります 5
【電子情報の整備・充実、デジタル環境への対応】
【紙媒体と電子媒体の両方に対応したハイブリッドレファレンスサービスの提供】
【様々なネットワークへの参加連携】
- (4) 地域の創造性の継承・発展に取り組みます 5
【地域情報の蓄積・継承・発信】
【市民と共に進める仙台に関する情報の発掘や発信】
【震災関連資料の継続的収集と活用】
- (5) 「学都仙台」を活かして大学図書館等との地域連携を進めます 6
【市内大学との連携 / 市内専門研究機関等とのネットワークづくり】

方向性 2 0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館となるために

- (1) 乳幼児から小学生まですべての子どもが本と出会う機会を提供します 7
【妊娠期の親や乳幼児とその親に対する読書支援の強化】
【読書のきっかけづくりや継続していくための小学生向けの読書支援の取り組み】

- (2)障害のある子どもの状況にあったサービスを提供します 8
 【障害のある子どもが利用しやすい資料の収集、読書環境の整備】
 【関係機関との連携を強化し、ニーズに応じた取り組み】
 【障害のある子どもが来館しやすい環境整備】
- (3)ヤングアダルト世代の読書支援の充実を図ります..... 8
 【各図書館のヤングアダルトコーナーの充実】
 【中高生向け広報の強化】
 【中高生による図書館サポーターの育成】
- (4)学校との連携を強化し子どもの読書活動を積極的に推進します..... 10
 【子どもの学年に応じた利用しやすい形での資料の提供】
 【学校との連携を強化し、協働による事業の拡充】
- (5)家庭、地域などと連携し子どもの創造性を育む読書環境を支える輪を広げます・・ 11
 【子供図書室を核とした地域における子ども読書活動の支援】
 【市内の保育園・保育所、幼稚園、児童館・児童センター等地域施設の支援】
 【地域のボランティア育成と活動支援】
 【家読^{うちどく}をすすめる取組】

方向性 3 市民一人ひとりに利用しやすい図書館となるために

- (1)どこに住んでいても情報が身近に届くサービスの充実をめざします..... 13
 【非来館型サービスの提供】
 【市民センター等を活用した図書館サービス窓口の適正配置】
 【分室、移動図書館サービスの再編等】
- (2)誰もが使いやすい図書館サービスをめざします 13
 【高齢者サービスの充実】
 【障害のある人へのサービスの充実】
 【外国人が使いやすいサービスの充実】
 【新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた措置】

方向性 4 自らの変革を進める図書館となるために

- (1)仙台市民の財産として資料の収集・保存を計画的に行います 15

	【計画的な資料の収集・保存・活用／分担収集の推進と収蔵スペースの確保】	
(2)	図書館像を共有して市民と共に図書館づくりを進めます	15
	【図書館サービスの広報、図書館像の共有】	
	【文字・活字文化振興のための市民活動の支援、市民協働による図書館づくり】	
(3)	図書館資源を適正に配分し、有効に活用します	16
	【システムやサービスのあり方の見直し】	
	【指定管理館のあり方の検討】	
(4)	図書館サービスの評価を行いながら図書館経営を行います	16
	【継続した事業評価の実施／市民による評価や意見の活用】	
(5)	図書館職員の資質の向上に努めます	17
	【出版文化の状況や利用者の動向を踏まえて選書を行える職員の養成／専門性と経営能力を備えた職員の養成】	
	【多様な利用者ニーズに対応したサービス提供のための職員のスキルアップ】	
	図書館振興計画 2022 に基づく方向性ごとの重点的取組	18

凡例

- 新** ……全館で実施した新規事業
- 拡** ……全館で実施した拡充事業
- 重** ……全館で実施した重点事業
- 新規** ……各館で実施した新規事業
- 拡充** ……各館で実施した拡充事業

◆ 総 括 ◆

令和3年度は、「せんだい電子図書館」の運用を11月から開始するなど、社会の情勢に合わせた図書館サービスの提供を図った。移動図書館車ひろせ号を25年ぶりに更新したこともあって、市政だより2月号では図書館サービスについての特集が生まれ、図書館について周知することができた。

前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症への感染防止対策を講じながら、可能な限り図書館サービスを提供し、おはなし会などの行事にも取り組んだ。

そのほか、SDGsに関連したイベントの実施や資料の展示、地域ゆかりの作家など郷土資料の充実や、震災関連資料の収集・活用を継続して実施した。

令和4年度は「図書館振興計画2022」に沿って、乳幼児から読書に親しめる文化を育むことなどをめざしながら、図書館サービスを継続して提供していく。

◆ 仙台市図書館協議会の意見 ◆

方向性1 地域や市民に役立つ図書館

- ・ 本の情報と体験を交えて、感性の幹を作り、知性を身に着けて羽ばたいていくという成長過程を支えるのが図書館運営の大事なテーマだと感じた。
- ・ 丁寧に様々な事業に取り組んでおり、社会に対して貢献していると思う。
- ・ 前年度の本の福袋の中身を紹介することは、何が入っているのか興味がある利用者に対してよい取組だと思う。

方向性2 0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館

- ・ 学校内での読み聞かせ等のボランティアが再開している。今後、学校で活動するボランティアに向けて、研修や本の紹介など図書館からのアプローチがあるとよい。
- ・ YA世代などの若い人へのアプローチが大切である。何を読めばいいのか、何を読みたいのかわからない人たちへ図書館から歩み寄り、ストレートに伝えてほしい。
- ・ 同世代が読んでいる本やおすすめの本は他の子どもたちも興味を持って借りていくので効果があると思う。

方向性3 市民一人ひとりに利用しやすい図書館

- ・ 障害がある人へのサービスは、視覚障害だけでなく知的障害にも目を向ける必要がある。
- ・ 現在頻繁に利用している利用者にはより楽しいサービスを提供するとともに、これから読書を楽しむ若い世代に対しても継続してサービスを提供し、10年、20年のスパンで見えていかなければいけない。

方向性4 自らの変革を進める図書館

- ・ 事業が多岐にわたっており、若い職員が自由に発想できる環境であると思われる。
- ・ 世の中の状況に合わせて図書館も変化していかなければいけない。
- ・ 方向性に沿って手広く事業に取り組んでいる。できなかったことへの課題を洗い出すことが必要だと思う。

施策 (1) 文化的で豊かな生活を営む基盤としての図書館サービスに取り組みます

令和3年度実施状況

【教養や楽しみとしてのニーズに応え、生涯を通じた学びを支えるサービスの提供】

○様々な本や情報と出会うきっかけとなる資料(一般書、児童書、視聴覚資料)の案内等を発行した。

一般向け図書案内	「本の翼」(市民) 「広瀬図書館新刊案内」(広瀬) 「新着セレクト」(宮城野) 「つつじがおか」(榴岡) 「あなたのおすすめ本を教えてください」(榴岡) 「若林図書館だより 本びより」(若林) 「Choice of Books」(太白) 「シニアライフの充実は“図書館”から」(泉) 「本のいずみ」(泉)
児童図書案内	「家読におすすめの本」 「BOOK TREE」 「あかちゃんと楽しむはじめての絵本」 他 各館でテーマ別図書案内等 12 種類を発行
中高生向け図書案内	「いじめ・命に向き合う本」(全館) 「10代のためのこころのサプリ」(全館) 「YAnews」(広瀬) 「百架繚乱(10代向けブックリスト2022)」(広瀬) 「学習応援本」(宮城野) 「Young Woods」(若林) 「YA通信 すばろーずペーパー」(泉) 「おすすめブックリスト2021」(泉)
新着 AV 資料案内	「AV 新着案内」(広瀬) 「Come, Come」(宮城野) 「まんまるシアター」(若林) 「アンシャンテ」(太白) 「キー・ステーション」(泉)
広報紙等	「YA 瓦版」(全館) 「郷土のかぜ」(市民) 「広瀬図書館だより」(広瀬) 「榴岡図書館だより」(榴岡) 「上映会通信」(若林) 「てとてといずみ」(泉) 「子供図書室通信」(泉)
その他	「仙台市職員研修のための図書案内」 「仙台市職員のための新着資料案内」(市民) 「福袋の本リスト(一般向け・児童向け)」(宮城野・泉) 「大活字本所蔵リスト」(泉)

○文字・活字文化に親しみ、読書活動を推進するための展示を実施した。

- * 毎月のテーマ展示を行うほか、随時話題の資料の展示コーナーを設け、資料選びの参考となるよう配慮した。(全館)
- * 「追悼コーナー」 「芥川賞・直木賞受賞コーナー」等を報道後迅速に設置した。(全館)
- * 春と秋の子ども読書フェスティバル期間中に関連のテーマ別展示を行った。(全館)
- * 仙台文学館、仙台市博物館、宮城県美術館等の地域の専門機関の企画展示に合わせた資料展示を行った。(市民・宮城野・泉)
- * 子どもたちを含め、利用者のおすすめの本を募り、展示やリストで紹介した。(宮城野・榴岡・泉)
- * 広瀬図書館開館30周年記念事業として、資料展示「なんでも30」を実施した。(広瀬) **新規**
- * 職員が各々にテーマを設定して実施する資料展示「広瀬図書館スタッフのMY本棚」を実施した。(広瀬)
- * 仙台が生んだ怪談作家・杉村顕道を取り上げる企画展示を実施し、その著作や俳画、製作に関わった郷土かるたなどを展示した。(広瀬) **新規**
- * CSR(企業の社会貢献)関連資料コーナーを設置し、市内企業や団体等についての情報を提供した。(若林)
- * 省エネルギーや再生可能エネルギー関連の資料コーナーを常設し、利用者への啓発を行った。(太白)
- * 限られた積載数の中で利用者が最大限満足できる資料となるよう、「不偏」「時宜」「変化」「要望」に留意して積載した。(移動)

○SDGsの持続可能な開発目標を基にした関連資料の展示等を実施した。 **(重)**

- * 「広瀬図書館スタッフのMY本棚」の特別企画として、「What's the SDGs? SDGsって何だろう?」を実施した。実施期間中は、書棚の関連するテーマのサインにも表示を行った。(広瀬) **新規**
- * SDGs17項目をテーマとした展示を行い、利用者への啓発を促した。(榴岡、若林)
- * SDGs17項目に関するクイズを3ヵ月に渡り9問出題(掲示)し、利用者への啓発を促した。(榴岡)
- * 「ルーレットを回してSDGsを学ぼう」を開催した。(榴岡)
- * フェアトレードを扱ったドキュメンタリー映画を通してSDGsへの理解を深める映画鑑賞会を開催した。(若林)
- * 「6月は環境月間 未来のために考えようSDGs」と題し、環境問題関連の資料展示を行った。(泉)

【資料を介在とした地域社会の中での落ち着いた居場所としての機能と新たな活力を生み出す場づくり】

○感染症拡大防止策を講じたうえで、「落ち着いた居場所」や「交流の場」としての図書館をめざし、市民が「本」や「人」と出会い、豊かな学びの機会を得られるためのイベントや講座等を開催した。

- * 様々な分野の本に興味を持つきっかけ作りとして「本の福袋」を実施した。(市民、広瀬、宮城野、榴岡、若林、泉)
- * 閉館後の図書館を活用したイベント「ライブラリーアフターアワーズ」で「スペシャルコンサート 光のページェントとともに」を開催した。(市民)
- * 仙台駅前の商業施設に「出張図書館」として楽しく本に触れられるブースを出展し、本の貸出やおはなし会を実施した。(市民) **新規**
- * 「広瀬図書館スタッフのMY本棚」の特別企画として、前年の本の福袋の中身を紹介する「本の福袋2021」を実施した。(広瀬) **新規**
- * 広瀬文化センター・広瀬市民センター・広瀬図書館の開館30周年記念事業として、NPO 法人・劇団仙台小劇場による演劇公演「飛び出す紙芝居・劇場版 アーリー博士とレイト怪人」を開催した。(広瀬)
- * 広瀬図書館の開館30周年事業として、館長講演会「歌謡曲の仙台学」及びスピンオフ企画としてのレコードジャケット展示「OH！宮城県歌謡曲」を実施したほか、資料展示「なんでも30」(再掲)、広瀬図書館の30年を振り返る年表の製作にも取り組んだ。(広瀬) **新規**
- * 読書会行事「ひろせしやべぐる BOOKS」(テーマ:「なんでも30 極私的ベスト本」)を開催し、参加者が選書した資料を「広瀬図書館まつり」で「読書会の本棚」として展示した。(広瀬)
- * 「広瀬図書館まつり」において、職員が講師となる製本ワークショップを開催した。(広瀬)
- * 学生の試験期間等で混雑しやすい土日(不定期)に、視聴覚室を学習室として開放した。(宮城野)
- * 図書館員の手づくり講座「フラワーアレンジメントパート5」を開催した。(若林)
- * 若林区文化センター、若林区中央市民センターと連携し、仙台七夕関連の事業「あらためて知りたい仙台七夕」を開催、期間中にギャラリートークを開催した。(若林)
- * 若林区文化センターと連携し、夏休みにバックヤードツアーを開催した。(若林)
- * 子どもの読書活動の推進と理解を深めるため、作り手である絵本作家を迎えて講演会を開催した。(若林)
- * 視聴覚資料の展示コーナーを設置し、CDなどのテーマ展示を行った。(泉) **新規**

施策 (2) 課題解決に取り組む市民を応援します

令和3年度実施状況

【様々な課題解決に役立つ資料や情報の積極的な収集・保存・提供】

○全国的な図書館利用動向や本市における傾向などを踏まえた、高齢者や障害者なども含めたすべての利用者にとって、様々な課題解決に役立つ資料を幅広く収集した。

	令和2年度	令和3年度
資料受入数(冊・点)	67,394	58,283
蔵書数(冊・点)	2,076,226	2,084,588
個人利用者数(人)	1,308,220	1,341,615
個人貸出数(冊・点)	3,965,319	4,127,116

【レファレンス機能の充実】

○社会教育施設や関係機関を通して専門分野に関するレファレンス資料及び情報の収集を行うほか、国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」を全館で提供するなど、レファレンス機能の充実に努めた。

▷令和3年度 レファレンス件数 37,999件(令和2年度 34,959件)

- * 国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の提供を継続して行った。(全館)
▷令和3年度 利用件数 159件(令和2年度 利用件数 149件)
- * 国立国会図書館のレファレンス協同データベースにレファレンス事例の登録を継続して行った。(全館)
- * 各館で解決したレファレンス事例を集めたレファレンス事例集「本の道案内」Vol.7を発行し、ホームページにも掲載した。(全館)
- * バスファインダー(調べ方ガイド)の館内配置とホームページへの掲載を継続して行い、レファレンスサービスの周知を行った。(全館)

【課題解決型情報支援サービスの充実】

- 図書館ホームページやメール配信サービスを通じて、図書館からのお知らせやイベントなどの情報発信を行った。
 - * ホームページ(イベント情報・新着資料・テーマ別リスト等)を随時更新し、情報提供に努めた。(全館)
 - * Twitterで、ホームページ「YA 中高生のページ」の更新情報、イベントや展示の告知、実施報告等の情報発信を行った。(全館)
 - * ホームページ「YA 中高生のページ」において、中高生の課題解決に役立つ情報を発信した。(市民)
 - * ホームページ「学校支援」において、「授業や資料探しに役立つリンク集」のページにリンク先を追加した。(市民)
 - * ホームページ「学校支援」において、「授業用図書貸出を利用した授業実践例」のページを作成した。(市民) **新規**

【地域の専門機関との連携】

- 地域の専門機関と連携し、市民向け講座・講演会や情報展示コーナーの設置など、地域に関する情報の発信等に努めた。
 - * 環境局家庭ごみ減量課と連携し、「食品ロス削減月間」の取組みとして、啓発ポスターやリーフレット等の展示を行い、関連図書の展示を併せて行った。(全館)
 - * 各区保健福祉センター家庭健康課と連携し、虫歯予防等の各種啓発ポスター・リーフレット等の展示や、各テーマに合わせた資料展示を行った。(宮城野・太白・泉)
 - * 仙台市博物館との連携講座「それでも行きたい！〇〇な旅」を開催した。(市民)
 - * 仙台市天文台と連携した子ども天文教室「見上げてみよう！ふたご座流星群」を開催した。(広瀬)
 - * 地域課題の解決を支援する取組として、宮城総合支所との協力による資料展示「こころの声に耳をすませて～頑張りすぎているか？～」(自殺対策強化月間の取組)を実施した。(広瀬)
 - * 宮城野区中央市民センター他と共同で、乳幼児健診の日程に合わせて親子連れのおそび場「ウエルカム広場<ミニ>」を開催した(宮城野)
 - * 仙台市歴史民俗資料館との連携事業として講座「学都と杜の都の成り立ち」「和の道具～食生活を中心に～」を開催した。(榴岡)
 - * 中高生を対象とした無料オープンスペース「kuruto ながまち」と連携し、互いの活動を広報するとともに、「kuruto ながまち」が企画したビブリオバトルに当館職員も参加した。(太白) **新規**
 - * 「仙台 89ERS」がホームゲームで勝利すると仙台出身の選手が施設等に絵本をプレゼントする「空飛ぶ絵本」プロジェクトに協力し、絵本のプレゼント候補リストを作成・提供した。(太白) **新規**
 - * 泉区保健福祉センター管理課と連携し、国際エイズデーの取組として、啓発ポスターやリーフレット等の展示を行い、関連図書の展示として「性について考えよう」を実施した。(泉) **新規**
 - * 法テラス宮城との連携講座として、「知っておきたい相続のはなし」を開催し、関連資料の展示やリストの配布を行った。(泉)(再掲)
 - * 日本政策金融公庫との連携事業として、「情報は成功のカギ！～図書館からビジネスチャンス～」と題し、創業に関するパネル展示のほか、関連資料の展示やリストの配布を行った。(泉)

施策 (3) 情報化社会の進展に合った情報提供の充実を図ります

令和3年度実施状況

【電子情報の整備・充実、デジタル環境への対応】

○図書館に来館しなくても、インターネットを通じて、いつでもどこでも電子書籍を借りて読むことができる「せんだい電子図書館」を令和3年11月に開始した。(新) (重)

▷令和3年度電子書籍所蔵数 3,322点

*「せんだい電子図書館」の新作図書のお知らせを図書館ホームページに随時掲載した。(新規)

*「せんだい電子図書館」のPRと利用促進のため、市政だより2月号の図書館特集ページで紹介するとともに、URLと二次元コード付きのしおりを作成し窓口で配布した。(全館)(新規)

*新しくサービスが開始された「せんだい電子図書館」の体験会を行った。(若林、泉)

○商用データベースサービスを継続し、利用者に最新の情報を提供した。(全館)

▷令和3年度利用者向け商用データベース7種類、利用件数624件(令和2年度7種類、717件)

○市民図書館の郷土資料コーナーに電子資料閲覧用機器を設置し、デジタル化した和書・漢籍・古地図の閲覧サービスを継続して提供した。また、ホームページのデジタルライブラリーに古文書(地図・和書)を追加掲載した。

▷令和3年度掲載件数74件(令和2年度58件)

○国文学研究資料館の「新日本古典籍総合データベース」に仙台市民図書館所蔵の貴重古典籍(江戸時代以前の本)のデジタル画像528点を継続して公開している。

【紙媒体と電子媒体の両方に対応したハイブリッドレファレンスサービスの提供】

○ホームページにレファレンス事例集「本の道案内」Vol.1～Vol.7及びパスファインダー41種類を継続して掲載し、図書館のレファレンスサービス活用方法の周知に努めた。(再掲)

○ホームページに「本と映像で知る郷土」のページを設け、図書館資料とせんだいメディアテークのせんだい教材映像アーカイブを合わせて見られるようにし、14のテーマを設定し掲載した。令和3年度は8つのテーマ(四ツ谷用水、仙台市電、秋保電鉄、仙台(宮城)の伝統野菜、仙台の城、泉区、仙台空襲、太白区)を新設した。(拡)

【様々なネットワークへの参加連携】

○国立国会図書館のレファレンス協同データベースへの事例登録を継続して行った。

○新日本古典籍総合データベースに貴重古典籍のデジタル画像が公開された。(市民)(再掲)

施策 (4) 地域の創造性の継承・発展に取り組みます

令和3年度実施状況

【地域情報の蓄積・継承・発信】

○図書、逐次刊行物、行政資料のほか映像資料も含め多様な地域資料の収集に努めた。

▷令和3年度郷土資料受入数 1,955冊(令和2年度1,909冊)

*郷土資料コーナーで郷土に関する幅広い事柄をテーマに展示を行った。(市民)

▷令和3年度テーマ 「7.9 仙台空襲」「伊達な生き物絵画展」「旅をめぐるさまざまな風景」「郷土資料を支える杜の都の編集者」「小野寺純一展覧会あの日、ふるさと」「仙臺 ZOOM UP 芭蕉の辻」「写真で振り返る東日本大震災」

*郷土資料コーナーに「ゆかり文庫」の本棚を設け、荒木飛呂彦氏、伊坂幸太郎氏、伊東豊雄氏、熊谷達也氏、佐伯一麦氏、鷲田清一氏の作品を常時閲覧できるように展示した。(市民)(新規)

*郷土資料コーナーで仙台にゆかりのある著名人を五十音順で紹介した小冊子「郷土のゆかり人」を配布し、随時更新した。(市民)

(新規)

* 地域の情報や記憶を収集・保存・共有・継承するデジタルアーカイブ「ひろせアーカイブ」の構築に着手した。地域にまつわる記憶や思い出を詩やエッセイなどの形式で募集する「思い出アーカイブ」は、「ひろせアーカイブ」のコンテンツとして継続して実施した。(広瀬) **新規**

* 「東北楽天イーグルス応援コーナー」を引き続き設置し、野球関連の図書や雑誌に加え各種グッズを展示し、充実を図った。(宮城野)

* 地元ゆかりの島崎藤村に関する「藤村コーナー」にて関連資料の展示や紹介を行った。(榴岡)

* 仙台に縁のある詩人・画家、尾形亀之助の業績を顕彰する講座「尾形亀之助を知っていますか」を開催した。(若林)

* 各種グッズを展示して、「仙台 89ERS 応援コーナー」を引き続き設置した。(太白)

* 「ベガルタ仙台展示コーナー」を引き続き設置し、サッカー関連資料やベガルタ仙台・マイナビ仙台レディースのグッズの展示のほか、ホームゲーム日には職員がベガルタ応援 T シャツを着用した。(泉)

* 仙台に関する本のテーマ展示「ようこそ！仙台へ」を実施し、仙台ゆかりの作家のリスト掲示も併せて行った。(泉)

【市民と共に進める仙台に関する情報の発掘や発信】

○ 市民の協力を得て仙台に関する情報の収集と資料の提供に継続して努めた。

▷ 令和 3 年度寄贈による郷土資料受入数 1,311 冊(令和 2 年度 1,211 冊)

* 所蔵している郷土資料や郷土に関するミニエッセイとともに新着参考図書を紹介する情報紙「郷土のかぜ」を継続して発行し、ホームページにも掲載した。(市民)

* 東口ガイドボランティアと協働して「土井晩翠ゆかりの地を歩く」を開催した。(榴岡)

* 風の時編集部、仙台市歴史民俗資料館との協力により、仙台七夕に関する展示を開催した。(若林)

【震災関連資料の継続的収集と活用】

○ 東日本大震災関連資料や情報の継続的収集、3.11 震災文庫及び各館震災コーナーの充実と活用を図った。

▷ 令和 3 年度末現在 3.11 震災文庫資料収集数 13,967 点(令和 2 年度末 13,633 点)

○ 仙台市政だより全市ページに「3.11 震災文庫を読む」の連載を継続した。

* 学校貸出用テーマ別パッケージ「防災」を小学校低学年向けと高学年向けに分けて貸出を行った。(市民、宮城野、若林、太白、泉)

* 「仙台防災未来フォーラム 2022」において、絵本作家あいやはひろゆき氏による震災がテーマの絵本「笑顔が守った命」の読み聞かせや、図書館職員による「防災おはなし会」、学校貸出用「防災」パッケージの展示を行った。(市民)

* 震災関連事業として仙台市博物館と連携し展示「仙台市東部沿岸地域の歴史と記録」を開催した。(若林)

* 仙台市東部沿岸地域で農業に取り組む若手就農者を講師に迎え、地域講座「仙台市東部沿岸地域一被災地農業のいまとこれから」を開催した。(若林)

* 東日本大震災をテーマとした特集展示を行った。(太白、泉)

施策

(5) 「学都仙台」を活かして大学図書館等との地域連携を進めます

令和 3 年度実施状況

市内大学との連携／市内専門研究機関等とのネットワークづくり】

○ 宮城教育大学附属図書館との資料の相互貸借を継続して実施し、館内掲示により周知を図った。

○ 利用者からの問い合わせに応じて大学図書館の所蔵状況確認を行った。

○ 市内の大学等との連携による取り組みの実施に努めた。

* 図書館実習の学生を受け入れ、図書館学を学ぶ学生の養成に協力した。(市民、宮城野、太白、泉)

* 国立仙台高等専門学校広瀬キャンパスの「高専祭」に参加し、広瀬キャンパス図書館との共催による「古本市」の開催により相互の利用促進に繋げた。(広瀬)

* 尚絅学院大学(学生読み聞かせワークショップ)(広瀬、榴岡)、聖和学園短期大学(施設見学)(榴岡)、宮城教育大学(司書教諭研修の講師として職員派遣)(泉)、東北生活文化大学短期大学部(保育内容(読み聞かせ)の講師として職員派遣)(泉)との連携を行った。

施策

(1) 乳幼児から小学生まですべての子どもが本と出会う機会を提供します

令和3年度実施状況

【妊娠期の親や乳幼児とその親に対する読書支援の強化】

○定員を減らし、回数を増やすなど、感染症拡大防止策を講じたうえで、各種おはなし会を継続して実施し、読み聞かせの楽しさや大切さを伝えた。

【乳幼児向けおはなし会】

▷令和3年度実施回数 133回、参加者数 1,110人(令和2年度 117回、1,398人)

【幼児向けおはなし会】(幼児～小学校低学年対象)

▷令和3年度実施回数 344回、参加者数 3,085人(令和2年度 328回、2,916人)

【親子向け実践講座「赤ちゃんを楽しむ絵本とわらべうた」など、乳幼児及び保護者向けの行事】

▷令和3年度実施回数 15回、参加者数 160人(令和2年度 15回、196人)

○乳幼児の保護者向けブックリスト「あかちゃんと楽しむはじめての絵本」を継続して作成、配布した。

▷配布先:各区役所総務課・保健福祉センター家庭健康課、各のびすく、市立保育所、近隣の認可外保育施設、婦人科クリニック等

○仙台市子ども読書活動推進会議に参加し、関連部署との情報共有を図った。

*せんだい電子図書館に「うごくえほんリッチコンテンツ」を用意しWebサイトトップページに専用バナーを設けた。**新規**

*おはなし会ノートやスタンプカードを配布し、継続参加を促し、絵本等を通じた親子のふれ合いの場を提供した。(全館)

*ボランティア団体との協働・協力により各種おはなし会を実施した。

*児童館やのびすくで出張おはなし会を実施した。(市民、宮城野、若林、泉)

*NPO法人・MISOとの連携による「えいご de おはなし会」や、乳幼児と保護者が対象の「はじめよう！ベビーサイン」を継続して実施した。(広瀬)

*「ぬいぐるみおとまり会」を開催し、子どもたちに図書館を身近に感じてもらえる機会を提供した。(若林)

*宮城野区中央市民センター他と共同で、乳幼児健診の日程に合わせて親子連れのお遊び場「ウエルカム広場<ミニ>」を開催した(宮城野)(再掲)

*子育て支援通信「てとてといずみ」を継続して作成し、各図書館と各のびすくで配布した。(泉)

*妊娠期の家族向けに「マタニティブックリストー新しい家族を迎えるあなたに…」を作成した。(泉)**新規**

【読書のきっかけづくりや継続していくための小学生向けの読書支援の取り組み】

○小学校1年生向け図書館利用案内「としよかんへいこう！」を、学校を通して市内全小学校1年生に配布した。図書館に利用案内を持参した児童には「ようこそシール」を貼り、来館を促した。

▷令和3年度配布校数・配布枚数 132校・10,055枚(令和2年度 133校・10,140枚)

▷「ようこそシール」令和3年度配布枚数 561枚(令和2年度 240枚)

○小学校1年生向け「りようしゃカードひきかえけん」を、学校を通して市内全小学校1年生に配布した。

▷令和3年度配布校数・配布枚数 132校・10,055枚(令和2年度 133校・10,140枚)

▷利用者カード発行数 796枚(令和2年度 331枚)

*巡回先小学校の新入学児童保護者会場で移動図書館の紹介とともに「りようしゃカードひきかえけん」の活用を保護者に呼び掛けた。(移動)**新規**

○小学生向けにおはなし会や工作教室、1日図書館員等、子どもたちが参加できる催しを実施したほか、職場見学・体験学習等の受け入れなど、様々な読書支援サービスを行った。

*夏休み期間中に自由研究や工作、読書感想文等に関する資料を集めたコーナーをつくり、利用促進を図った。(全館)

*子ども映画上映会を開催した。(広瀬、宮城野、若林)

*乳幼児から小学生向けに、様々な分野の本に興味を持つきっかけ作りとして「本の福袋」を実施した。(市民・広瀬・宮城野・榴岡・若林・泉)(再掲)

*ひろせ読書スタンプラリー、「夜のこわ〜いおはなし会」、「子ども天文教室」(再掲)や「体験！図書館員になろう！」を開催した。(広瀬)

方向性 2 0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館となるために

- *「おうちでこうさくきょうしつ」と題して、紙製のオリジナルアイスクリームの工作キットを配布し、完成作品を展示した。(宮城野)
- *「あんごうをといてさがしてね」と題し、暗号を解いて書架を巡っていくと「なぞとき証」がもらえる企画を実施した。(宮城野) **新規**
- *「ルーレットを回して SDGs を学ぼう」を開催した。(榴岡)(再掲)
- *夏休み期間に「宿題お助け隊」を開催し、図書館資料のアピールと利用促進を図った。(若林)

施策 (2) 障害のある子どもの状況に合ったサービスを提供します

令和3年度実施状況

【障害のある子どもが利用しやすい資料の収集、読書環境の整備】

- 子供図書室のユニバーサルコーナーをはじめ各館で、触る絵本や点字付き絵本、LLブック等、障害のある子どもたちの読書活動の推進に向けた資料の収集に努めた。
 - *配架場所が各々だったバリアフリー資料を1か所に集め、常設の展示コーナーを設置した。(市民) **拡充**
- 触る絵本等の関連資料所蔵リストの各図書館での配布とホームページ等での公開を継続して行った。
- マルチメディアデジ資料の貸出を継続して行った。また、特別支援教育コーディネーター連絡協議会でチラシを配布し周知・広報に努めた。
 - *特定非営利活動法人主催の「障害のある人と芸術文化活動に関する大見本市」で、せんだいメディアテークとの連携でマルチメディアデジや電子図書館の閲覧、点字付き絵本等のバリアフリー図書や図書館で行っている障害者サービスなどについて紹介した。(市民) **新規**
- せんだい電子図書館に音声読み上げ機能の付いた電子書籍を用意し、Web サイトトップページに専用バナーを設けた。

新

【関係機関との連携を強化し、ニーズに応じた取り組み】

- 特別支援学級からの要望が多かった資料を中心に貸出資料の充実を図った。
- 特別支援学校・学級専用資料について作成したチラシを、市内特別支援学校と市立小・中学校の特別支援学級へ配布するとともに、ブックトーク等で小・中学校を訪問する際にも配布し、広報に努めた。
 - ▷令和3年度利用校数 19校延べ57回(小学校18校56回、中学校1校1回) (令和2年度 21校延べ51回)
 - ▷令和3年度利用点数 2,049点(小学校2,014点、中学校35点)(令和2年度 1,874点)
- 利用校に対するアンケートを実施し、ニーズに合った資料の充実を図った。
 - ▷令和3年度アンケートの送付校数 19校56枚(令和2年度 21校)

【障害のある子どもが来館しやすい環境整備】

- *手話を使ったおはなし会を実施した。(市民・宮城野)
- *聴覚支援学校児童の施設見学を実施した。(太白)
- *施設見学で来館した特別支援学級の子どもたちに向けておはなし会を実施した。(泉)

施策 (3) ヤングアダルト世代の読書支援の充実を図ります

令和3年度実施状況

【各図書館のヤングアダルトコーナーの充実】

- 中高生のおすすめの本の投稿ボックスを全館に設置し、館内にヤングアダルト(YA)展示コーナーを設け、中高生向けの本の紹介や展示を行った。
- 中高生向けの本の紹介やボランティア体験等の読書支援サービスを行った。
- 職場見学・体験学習等の受け入れを継続して実施し、図書館や読書への興味・関心をより深める機会を提供した。
 - *せんだい電子図書館にヤングアダルト世代向け電子書籍を用意し、Web サイトトップページに専用バナーを設けた。 **新規**
 - *中高生向けに、様々な分野の本に興味を持つきっかけ作りとして「本の福袋」や「おみくじBOOK」を実施した。(市民・広瀬・宮城野・榴岡・若林・泉) (再掲)

- *「10代のためのこころのサブリ」掲載本の展示コーナーを新たに設置した。(市民・宮城野) **新規**
- *YAコーナーの選書支援アンケートを実施し、中高生やその親の読書ニーズを把握するとともに、その結果を選書アドバイザー会議における選書支援の参考とした。(広瀬)
- *10代を対象とする読書会(テーマ:「読書感想文のヒントを見つける10代のための読書会」)を開催した。(広瀬)
- *中高生の勉強や進路選択に役立つ本を集めた「学習応援ノ棚」を設置した。(宮城野)
- *YA通信「Young Woods」の発行を開始した。(若林) **新規**
- *中高生を対象とした無料オープンスペース「kuruto ながまち」と連携し、互いの活動を広報したり、「kuruto ながまち」が企画したビブリオバトルに当館職員も参加した。(太白)(再掲) **新規**
- *世界 KAMISHIBAI の日の行事にYA図書委員会が参加し、運営補助を行った。(泉)

【中高生向け広報の強化】

- 図書館ホームページの「ヤングアダルト中高生のページ」において、ヤングアダルト向けイベント情報や司書及び中高生によるおすすめの本の紹介を掲載するなど、情報発信を継続的に行った。同様に Twitter でも行った。
 - *ホームページ「YAのページ」の更新を Twitter で知らせるなど SNS とホームページとの連動を図った発信を行った。(市民)
- 子供図書室で、中高生向けの図書資料や行事を紹介する「YA通信」を発行し、全市立中学校及び高等学校等に配布するなど情報発信に努めた。
- 「いじめ・命に向き合う本」のリストを各館で配布した。
- 「YA 瓦版」を発行し、各館の YA コーナーの紹介や YA 図書館サポーターの活動についての情報発信を行った。 **新**
- 「10代のためのこころのサブリ」(「自分を守る」「ともだち・コミュニケーション」「あの人からのメッセージ」「命に向き合う」の4テーマに分類全21冊)を各館で配布するとともにホームページで公開した。
 - *太白区長町の商業施設において、「10代のためのこころのサブリ」「いじめ・命に向き合う本のリスト」を配布するとともに、本の展示を行った。(太白) **新規**
- 中学校1年生向け図書館利用案内を、学校を通して市内全中学1年生に配布した。
 - ▷中学校1年生向け図書館利用案内「図書館にいこうよ！」 令和3年度配布校数・枚数 82校・10,463枚
(令和2年度 82校・10,648枚)
- 高等学校1年生向け図書館利用案内を、学校を通して市内全高校1年生に配布した。
 - ▷高等学校1年生向け図書館利用案内「いざ！図書館」 令和3年度配布校数・枚数 50校・11,775枚
(令和2年度 46校・12,550枚)
- *乳幼児から小学生向けの「本の福袋」作成にあたって、仙台南高校図書委員会の生徒にも関わってもらった。(市民)
- *選書アドバイザーを中高生から募り、中高生向けブックリスト「百架線乱(ひやっかりょうらん)」(冊子版・リーフレット版)を作成した。ブックリストは区内中学校及び近隣の高等学校に配布し、同世代の中高生に読書の楽しみをアピールした。(広瀬)
- *「学習応援本」のリストを作成・配布した。(宮城野) **新規**
- *選書サポーターを中高生から募り、おすすめ本の POP を展示し、利用促進を図った。また、新しく開館した利府町立図書館の見学を行い、同年代に向けた POP を作成した。(榴岡)
- *中高生を対象に、仙台市図書館所蔵のおすすめ本を POP で表現する「POP de バトル」を開催した。(若林)
- *中高生ボランティア(泉図書館YA図書委員会)による選書や「おススメブックリスト2021」の作成、本の展示を行った。(泉)
- *東北生活文化大学高等学校の図書委員会と連携し、高校生が選書と POP の作成、図書館が資料の展示とリストの作成・配布を担当した資料展示「出張！生文大高校の愛され図書室」を実施した。(泉) **新規**

【中高生による図書館サポーターの育成】

- 「みんなのおススメの本を教えて！」投稿ボックスを各館に設置し、ホームページでも投稿された本の情報を紹介した。
 - ▷令和3年度揭示件数 26件(令和2年度 18件)(再掲)

- 子供図書室で実施した「泉図書館YA図書委員会」では、図書館業務の体験や、同年代に紹介したい「おススメブックリスト」の作成とともに本の展示を行うなど、様々な企画を通して図書館への理解・関心をより深める機会を提供した。
- 選書アドバイザーや選書サポーターが作成したブックリストを市内の中学校や高校に配布し、中高生の読書支援を行った。(再掲)
 - * 中高生のボランティア(選書サポーター、選書アドバイザー)によるブックリスト、POPの作成を通して、同年代へのおすすめ本の紹介などの情報発信を継続的に行い、読書のきっかけづくりを促進した。(広瀬、榴岡)(再掲)
 - * 区内ジュニアリーダーを対象に読み聞かせの講習会を開催した。(若林)
- 児童文学者講演会(「はやみねかおる先生トークイベント」)において、「泉図書館 YA 図書委員会」「選書サポーター」「選書アドバイザー」が中高生ボランティアとして、会場の設営や講師とのトークセッションを行った。

施策

(4) 学校との連携を強化し子どもの読書活動を積極的に推進します

令和3年度実施状況

【子どもの学年に応じた利用しやすい形での資料の提供】

- 小中学校向けにパッケージ貸出(小学校朝読書用パッケージ・テーマ別パッケージ)と学校貸出(授業用図書貸出・ブックトーク貸出・特別支援学校・学級専用貸出)を、資料の充実を図りながら継続して実施した。
 - ▷令和3年度パッケージ貸出利用校 83校 延べ貸出回数 110回(令和2年度 97校 116回)
 - ▷令和3年度学校貸出利用校 153校 400回 貸出冊数 17,475冊(令和2年度 159校 369回 17,251冊)
- 高等学校向け学校貸出サービスを実施した。
 - ▷令和3年度貸出利用校 4校 延べ貸出回数 8回(151冊)(令和2年度 3校 延べ9回 79冊)

【学校との連携を強化し、協働による事業の拡充】

- 公共図書館利用学習への支援を継続して実施した。
 - ▷令和3年度図書館見学・調べ学習 受入校 延べ49校 59回 2,974人(令和2年度 延べ43校)
 - * 公共図書館利用学習で泉図書館に来館した児童に、事前に学習材「教えて移動図書館」を提供し、見学後児童からの質問に対する回答を報告した。(移動) **新規**
- 小中学生の職場見学・体験学習等の受け入れを継続して実施した。
 - ▷令和3年度受入校 12校(令和2年度 10校)
- 市立小学校と関連施設2か所(子供相談支援センター・適応指導センター)に除籍済資料を無償譲渡し、資料の有効活用を図った。 **拡**
 - ▷令和3年度譲渡先 15校(所) 譲渡冊数 1,982冊(令和2年度 14校 2,213冊)
- 図書館職員による小中学校へのブックトークを継続して実施し、学校を訪問の際に学校図書事務員と情報交換を行った。
 - ▷令和3年度利用校 123校 131回(令和2年度 延べ125回)
- ブックトークボランティアによる小中学校へのブックトークを継続して実施した。
 - ▷令和3年度利用校 21校(団体)41回(令和2年度 17校)
- 学校図書館開放事業管理指導者研修会へ図書館職員を派遣したり、社会教育連携施設研修を実施したりした。
- 学校図書事務員研修に講師として図書館職員を派遣した。(市民・泉)
- 市内小中学校・特別支援学校全校を対象に学校連携事業に関するアンケートを実施し、図書館事業に対する要望の把握に努めた。
 - * 不登校児童の適応指導教室の職場体験を受け入れた。(市民、広瀬、泉)
 - * 高校生と高等専門学校の図書館見学、実習や就業体験を受け入れた。(市民、広瀬、若林)
 - * 短大生の図書館実習を受け入れた。(市民、宮城野、太白、泉)
- 図書館での調べ学習の流れを見通すことができるリーフレット「図書館で調べよう！」をブックトーク訪問の際に全小学5年生に配布した。 **拡**
- コロナ禍で来館できなかつた学校へ、図書館利用学習の代替として、出前授業や図書館紹介のプレゼンテーションデータを提供した。
- 県内の児童の作品を集めた作文集「作文宮城」の発刊70周年を記念し、市内小学校と連携して「作文宮城70年のあゆみ展」を開催した。

施策

(5) 家庭、地域などと連携し子どもの創造性を育む読書環境を支える輪を広げます

令和3年度実施状況

【子供図書室を核とした地域における子ども読書活動の支援】

○図書館全館において、春・秋の子ども読書フェスティバルを開催し、特別おはなし会やおすすめの本の展示等により子どもが本に親しむための機会をつくり、家庭・地域への情報提供等を行った。また、本の帯で作成した花を貼ってもらう「読書の木花いっぱいになあ〜れ」(春)や本を借りるためのしかけとして「ラッキーブックをさがそう！」(秋)を全館共通で実施した。

▷令和3年度「読書の木花いっぱいになあ〜れ」参加人数 10,391人

▷令和3年度「ラッキーブックをさがそう！」参加人数 12,813人(令和2年度 10,199人)

○児童文学者講演会を開催し、子ども読書活動を推進した。

▷令和3年度児童文学者講演会「10代のためのはやみねかおる先生トークイベント」参加人数 210人

(令和2年度児童文学者講演会「ようこそ『みちのく妖怪ツアー』の世界へ」参加人数 80人)

○子育てふれあいプラザのびすくと連携したおはなし会の実施や子育て支援通信等の情報紙配布、行事ポスターの掲示等を継続して行った。

▷令和3年度のびすくでのおはなし会実施回数 17回 260人(令和2年度 12回 244人)

○小学校低学年以下向けと小学校中学年以上向けの2種類の自書式読書通帳を継続して作成・配布した。また、通帳1冊終えるごとに認定シールを貼付し、子どもが継続して読書に親しめるよう工夫した。

▷令和3年度読書通帳配布数 17,495枚(令和2年度 14,537枚) 認定シール配布数 996枚(令和2年度 797枚)

○子ども読書支援パックの利用報告書に寄せられた意見を反映し「季節絵本パック」の一部を入れ替えた。

○子ども読書支援パックの紙芝居パックを6セットから8セットに拡充した。(拡)

【市内の保育園・保育所、幼稚園、児童館・児童センター等地域施設の支援】

○児童館等の職員やボランティアを対象とした、読み聞かせやストーリーテリングなど、子どもの読書に関する研修・講座を実施した。

▷令和3年度実施件数 10件 参加者数 157人(令和2年度 7件 225人)

*仙台市天文台に職員を派遣し、天文台スタッフサポーターを対象とする読み聞かせ研修を実施した。(広瀬)

○「子ども読書支援パック」を継続して貸し出した。

▷令和3年度末現在パック数 65種類 179パック(令和2年度末 65種類 179パック)

▷令和3年度貸出件数(保育所・幼稚園・児童館) 204件(令和2年度 227件)

○児童館等主催の子どもの読書に関する事業等へ図書館職員を派遣した。

▷令和3年度派遣件数 8件(令和2年度 1件)

*台原児童館主催の「絵本のひろば」に職員を派遣し、読み聞かせを行った。(市民)

*原町児童館(のびすく宮城野)のハロウィンパレードの立ち寄り場所として図書館も協力した。(宮城野)

*福沢市民センター主催の「ママのためのリフレッシュタイム♪」に職員を派遣し、読み聞かせやミニ講座を行った。(榴岡)

*「泉中央ルンルン子育て」で保護者向けに読み聞かせのコツ等について講話を行った。(泉)

*巡回場所に隣接する児童センターに利用申込書を配布し、センター利用児童による移動図書館の活用を呼び掛けた。(移動) **新規**

○保育園・保育所に対して除籍済資料の無償譲渡を行い、資料の有効活用に努めた。

▷令和3年度提供数 22件 667冊(令和2年度 19件 1,169冊)

【地域のボランティア育成と活動支援】

○「子ども読書支援パック」を継続して貸し出した。

▷令和3年度貸出件数(ボランティア等) 124件(令和2年度 116件)

○ボランティアの協力を得ながら、年齢・対象別のおはなし会やブックトーク等を積極的に実施した。

▷令和3年度読書活動推進ボランティアの延べ人数 669人(令和2年度 594人)

- ボランティア団体の活動情報を募集し、集まった情報を館内に掲示紹介し、相互の情報共有を図った。
 - ▷令和3年度活動情報チラシ枚数 21枚(令和2年度 21枚)
 - 図書館を利用する機会の少ない子どもにも、本に親しむ機会を提供できるように、家庭文庫・地域文庫の資料の充実を図るため、文庫への貸出を継続して行った。
 - ▷令和3年度文庫登録数 19団体(令和2年度 21団体)
 - ▷令和3年度貸出冊数 1,727冊(令和2年度 2,566冊)
 - 文庫活動を支援するため、文庫の会の勉強会でブックトークの手法や本の情報提供を行い、新刊案内等の広報紙を配布した。
 - 文庫やボランティアと連携して講演会や講座等の事業を行った。
 - ▷令和3年度実施件数 1件 ボランティア延べ人数 9人(令和2年度 2件 18人)
 - 図書館で活動しているボランティア団体との連絡会等を実施し、情報交換等を行った。(市民、広瀬、宮城野、若林、泉)
- 【家読をすすめる取組】**
- 家読のコーナーを設置し「うちどくにおすすめの本」のリストを配布するとともに、掲載の本を展示した。(市民、榴岡、泉)
 - * 広瀬、宮城野、太白はリストの配布のみ実施した。
 - * 「おうちで読書」を楽しめる情報をTwitterで提供した。

施策 (1) どこに住んでいても情報が身近に届くサービスの充実をめざします

令和3年度実施状況

【非来館型サービスの提供】

○図書館に来館しなくても、インターネットを通じて、いつでもどこでも電子書籍を借りて読むことができる「せんだい電子図書館」を令和3年11月に開始した(再掲)。(新)(重)

*「せんだい電子図書館」のPRと利用促進のため、「電子図書館体験会」を実施した。(若林・泉)(再掲)新規

【市民センター等を活用した図書館サービス窓口の適正配置】

○予約した本や視聴覚資料の受け取りや返却ができる新しい窓口として平成30年11月に開設した「中田サービススポット」の運営を継続した。

▷令和3年度開設日数109日 利用者数(延べ)3,003人(令和2年度119日 3,819人)

○市民センターからの要請を受けて、図書ボランティア養成講座等に講師を派遣し、地域での読書活動の活性化に努めた。

*荒町市民センター(榴岡)、泉区中央市民センター(泉)

【分室、移動図書館サービスの再編等】

○仙台市出身の絵本作家とよたかずひこ氏のイラストデザインにより、25年ぶりにひろせ号を更新した。令和3年12月に新車両のお披露目と出発式を行い、とよたかずひこ氏ご本人による絵本「バルボンさんのおでかけ」の読み聞かせを行った。

(新)

○令和元年度に実施した利用者アンケートの結果を分析し、車両に積載する本の入れ替えや雨天時のサービス等の業務改善を行った。また、安定的に開設できるよう駐車場所の見直しを行った。

▷市内76か所

○従来の巡回日程表(A3判)に加えて、曜日別のミニサイズ版の巡回日程表(A4判)を作成した。

○雨天など荒天の際のサービス内容を分かりやすく案内するチラシを作成した。あわせて、チラシには新型コロナウイルス感染症の拡大防止についての記述をし、利用者へ協力を求めた。

施策 (2) 誰もが使いやすい図書館サービスをめざします

令和3年度実施状況

【高齢者サービスの充実】

○高齢者をはじめとする通常の本の文字が読みづらい方向けに大活字本の収集を行うとともに、集中選書会議で調整のうえ新刊を中心とした大活字本も購入し、全館で資料の充実を図った。

▷令和3年度末大活字本受入数355冊(令和2年度末300冊)

▷令和3年度末大活字本蔵書数8,741冊(令和2年度末8,470冊)

*高齢者にも関心が高い分野をテーマとした資料展示やシニア向けの資料展示(広瀬、太白、泉)、「充実のセカンドライフコーナー」(市民)、「生き生き家庭生活応援コーナー・シニア向けおすすめ本」(若林)、「医療・介護情報コーナー」「大活字本」(太白)、「ユニバーサルコーナー」(泉)を継続的に設置し、随時新刊本を追加してコーナーの充実を図り、高齢者に向けた資料提供に努めた。

*東北大学病院広報室からの依頼により、年4回発行の東北大学病院広報誌「hesso(へっそ)」に高齢者向けのおすすめの本を紹介した。(市民)新規

*自館所蔵の大活字本リストを作成し、ユニバーサルコーナーに配置した。また、配布用リストを作成し、情報の提供を行った。(泉)(再掲)

*高齢者向け新着図書案内「シニアライフの充実は”図書館”から」を継続して発行し、情報の提供を行った。(泉)

【障害のある方へのサービスの充実】

- 心身の障害等により来館が困難な利用者に対し、図書館資料の郵送貸出を行った。
 - ▷令和3年度郵送貸出延利用者数延べ 3,911人(令和2年度延べ 4,178人)
 - ▷令和3年度郵送貸出数 9,948冊・点(令和2年度 10,153冊・点)
- 視覚障害のある人へ、朗読ボランティアによる対面朗読サービスを実施した。
 - ▷令和3年度対面朗読件数 67回(令和2年度 91回) (せんだいメディアテーク分を除く)
 - *朗読ボランティアを対象としたスキルアップ講座を開催した。(太白)
- 全館に拡大読書器、筆談ボード等を設置するなど、障害者へ配慮した。
 - *ボランティア団体「拡大写本の会」による拡大写本制作の支援を引き続き行い、仕上がった拡大写本を利用に供した。(拡大写本 1タイトル3分冊完成)(宮城野)
 - *手話のできる職員が「手話」バッジを着用するようにした。(市民、宮城野)
- 利用者へのデージー(DAISY)資料の貸出を継続して行った。
 - *視覚障害者へのデージー資料(録音図書)を作成した(担当:宮城野)。
 - ▷令和3年度 デージー資料 613点 累計 2,331点(令和2年度 デージー資料 429点 累計 1,906点)
- 視覚に障害のある方、学習障害や発達障害などにより活字による読書が困難な方に利用いただけるマルチメディアデージー資料の貸出を行った。(再掲)
- 障害者サービスに配慮した行事を開催したほか、図書館ホームページ上でも障害者サービスの広報に努めた。
 - *障害のある方の就労実習の受け入れを行った。(市民、宮城野、太白、泉)
 - *プロのアナウンサー、シンガーソングライターによる朗読や弾き語りを取り入れた「朗読コンサート」を開催した。(若林)
 - *博物館との連携講座「それでも行きたい!〇〇な旅」について、せんだいメディアテークも共催し、手話通訳・要約筆記付で開催した。(市民)
- 「特別支援学校・学級専用資料」を市内特別支援学校と市立小・中学校の特別支援学級へ貸し出した。(泉)(再掲)
- 「せんだい電子図書館」は文字拡大や色の変更ができる機能があり、また、音声読み上げ機能付きの電子書籍を多く用意することで、読みづらさ解消へ配慮した。**(新)**

【外国人が使いやすいサービスの充実】

- 選定会議、調整会議等で調整のうえ、外国語資料(一般洋書)の充実を図った。
 - ▷令和3年度外国語資料受入数 74冊(令和2年度 51冊)
 - ▷令和3年度末外国語資料蔵書数 4,761冊(令和2年度末 4,951冊)
- 外国語絵本や児童洋書の充実を図った。
 - ▷令和3年度外国語絵本・児童洋書受入数 183冊(令和2年度 298冊)
- 外国人向け利用案内(英語・中国語・韓国語)を継続して配布するとともに、ホームページでの情報提供を行った。
- 日本語多読ボックスなど日本語を学ぶ外国人に役立つ資料約 130冊を集めた「Welcome to SENDAI(仙台在住外国人支援資料コーナー)」を継続して設置した。(市民)

【新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた措置】(重)****

- 感染防止の取り組みとして、来館者へのマスク着用のお願ひ、来館者同士の距離を保てるような閲覧席の配置、OPAC等館内設備の清拭、手指消毒の徹底、カウンターへの飛沫感染防止用ツール等の設置、カウンター前の整列位置の表示、短時間利用のお願いをした。
- 各種図書館イベントについて、参加者数を限定、開催時間を短時間に制限するなどの対策を講じたうえで開催した。
 - *オンラインによるわらべうたの会「オンラインおはなし会」を開催した。(若林) **新規**

施策 (1) 仙台市民の財産として資料の収集・保存を計画的に行います

令和3年度実施状況

【計画的な資料の収集・保存・活用／分担収集の推進と収蔵スペースの確保】

○仙台市図書館資料収集方針に基づき、集中選書会議の中で、専門書や高額資料の購入について検討し、各館の分担収集分野に応じた配置を行った。

市民	郷土資料、東日本大震災関連資料、哲学・歴史・社会科学・ビジネス支援・建築・美術・言語関係資料
宮城野	文学関係資料
若林	農業・園芸関係資料
太白	健康・医療関係資料
泉	児童書研究資料、自然科学・技術工学・ビジネス支援・福祉関係資料

○書庫内の資料の計画的な除籍により資料収蔵スペースを確保し、魅力的な書架の提供に努めた。

○除籍資料を有効活用するための市内各団体向け譲渡会を継続して開催した。

▷令和3年度(児童書)小学校、保育所等 37 か所 2,649 冊 (令和2年度 40 か所 3,382 冊)

令和3年度(一般書)市民センター等 3 か所 711 冊 (令和2年度 5 か所 837 冊)

施策 (2) 図書館像を共有して市民と共に図書館づくりを進めます

令和3年度実施状況

【図書館サービスの広報、図書館像の共有】

○行事開催の案内等を市政だよりやフリーペーパーなどに掲載するほか、公共施設や商業施設にも配布・掲示し、幅広い層への周知を図った。

○多様な機関や市民団体との連携、行事・事業への参加、ラジオ放送等により、図書館サービスについての情報を発信した。

*市政だより令和4年2月号で、更新したひろせ号を表紙で紹介するとともに、特集で図書館サービスを案内した。(全館) **新**

*移動図書館をPRするため動画を作成し、YouTube で配信した。(移動)

*新車両への関心の高さを生かして移動図書館を広く知ってもらえるよう、新ひろせ号の巡回予定をホームページに掲載し、動画をYouTube に掲載した。また、巡回先で撮影を希望する利用者への撮影協力、「市政だより」や雑誌「りらく」による取材への協力を行った。(移動) **新規**

*白百合学園高等学校放送部による「第40回宮城県高等学校放送コンテスト新人大会」のための番組制作に協力した。(移動) **新規**

○図書館ホームページでのイベントのお知らせやメール配信、Twitterでの発信により、周知を図った。

*「仙台市職員のための新着図書案内」リストを市役所職員用掲示板で周知した。(市民)

*JR や地下鉄の駅に、図書館の新刊案内やイベントポスター等を掲示し、広報に努めた。(市民、広瀬、宮城野、若林)

○Twitterで、図書館のイベント情報やホームページの更新情報などの発信を行った。(再掲)

*広く移動図書館を知ってもらうために、小学校図書館見学の学習材として作成した「教えて移動図書館」をホームページ掲載した。(移動) **新規**

○せんだい電子図書館利用促進のために URL と二次元コード付きのしおりを配布した。(全館)(再掲) **新**

【文字・活字文化振興のための市民活動の支援、市民協働による図書館づくり】

○ボランティアや市民の協力を得て、各館で多様な取り組みを行った。

*ボランティアによるおはなし会を実施した。(全館)

*本の修理や返却された本を書架に戻す作業を、ボランティアの協力を得て行った。(市民、広瀬、宮城野、若林、太白、泉)

*ボランティアとの協働・協力による「七夕おはなし会」を実施した。(広瀬) (再掲)

*「広瀬図書館まつり」で、ボランティア団体との協働によるおはなし会リレーを実施した。また、継続して実施している読書会事業の参加者が選書した資料を「読書会の本棚」として展示した。(広瀬) (再掲)

方向性 4 自らの変革を進める図書館となるために

- 図書館で活動するボランティアを対象とした研修を実施した。
 - *子どもと本に関わるボランティアのためのステップアップ講座を開催した。(若林)
- 読み聞かせボランティア基礎講座・ブックトークボランティア基礎講座を修了した参加者に、子どもと本をつなぐ活動をしているボランティアの活動情報を提供した。

施策 (3) 図書館資源を適正に配分し、有効に活用します

令和3年度実施状況

【システムやサービスのあり方の見直し】

- 雑誌スポンサー制度を継続して実施した。(広瀬、宮城野、榴岡、若林、太白、泉)

▷令和3年度ステッカー 400枚、参加企業 3社(令和2年度 400枚、4社)

【指定管理館のあり方の検討】

- 指定管理者制度導入館に対して指導・監査を実施するとともに、管理運営に係るモニタリング・評価を実施し、ホームページ上で公表した。
- 榴岡図書館の令和4年度からの第3期指定管理者の公募・選定を行い、協定書を締結した。

施策 (4) 図書館サービスの評価を行いながら図書館経営を行います

令和3年度実施状況

【継続した事業評価の実施／市民による評価や意見の活用】

- 仙台市図書館振興計画に基づき実施した事業について点検・自己評価を行い、第三者による評価として仙台市図書館協議会から意見を受けて報告書としてまとめ、市民に公表した。
- 市民の意見や要望を把握し、より良いサービスが提供できる図書館経営を行うため、利用者向けアンケート調査や利用者懇談会を実施(書面)し、その結果をホームページで市民に公表した。
 - *改善に生かすため、アンケート調査「移動図書館について(認識度と意見)」を図書館と市民センターを通して実施した。(移動) **新規**
- 全館に意見箱を常設し、利用者の意見を聞く機会を設けるとともに、意見と回答の掲示を行った。
- 指定管理者制度導入館に対して管理運営に係るモニタリング・評価を実施し、ホームページ上で公表した。(再掲)
- 寄せられた意見、要望に応じて可能な改善を行った。
 - *新しくサービスが開始された「せんだい電子図書館」の体験会を行い、利便性の向上に努めた。(若林、泉)(再掲)

施策 (5) 図書館職員の資質の向上に努めます

令和3年度実施状況

【出版文化の状況や利用者の動向を踏まえて選書を行える職員の養成／専門性と経営能力を備えた職員の養成】

○国立国会図書館等の専門機関が実施するオンライン研修に参加した。

(各館の参加状況)

- * 国立国会図書館の研修会(宮城野、泉)
- * 全国公共図書館研究集会(市民、広瀬、泉)
- * 公共図書館等職員研修会(市民、広瀬、宮城野、榴岡、若林、泉)
- * 文部科学省の新任図書館長研修(宮城野・榴岡)
- * 都道府県著作権事務担当者講習会(市民、若林・泉)
- * 図書館地区別(北日本)研修(太白、泉)
- * 北日本図書館大会(広瀬)
- * 未来の図書館研究所シンポジウム(若林)
- * 全国映画資料アーカイブサミット(若林)

○外部機関等の実施する研修に参加した。

(各館の参加状況)

- * ブックトーク、手あそび、紙芝居等をテーマとする各種の外部研修(宮城野、榴岡)

○指定管理者主催の研修(障がい者サービス、児童書研究会、児童サービス、公共図書館のマネジメントクラス対象の研修)に参加した。(広瀬、榴岡、若林)

○生涯学習支援センターが主催する社会教育施設職員向け各種研修に参加した。(榴岡、広瀬、泉)

【多様な利用者ニーズに対応したサービス提供のための職員のスキルアップ】

○関連する各種研修に担当職員が参加し、スキルアップを図った。

- * 健康福祉事業団(介護研修室)主催の講座「認知症を知る」(認知症サポーター養成講座を兼ねる)に参加し、全職員が認知症サポーターの認定を受けた。(広瀬)
- * 公益財団法人日本ケアフィット共育機構が主催するサービス介助士講座の WEB 説明会に参加し、サービス介助士の概要や役割、図書館等への設置の必要性について学んだ。(広瀬)
- * 地域包括支援センター職員を講師とする「認知症サポーター養成講座」に参加し、全職員が認知症サポーターの認定を受けた。(若林)
- * 館内で職員を講師とするレファレンス研修を定期的に行った。(泉) **新規**

○全館職員対象の市民図書館主催の集合研修を行った。

- * 障害理解サポーター養成研修を受講し、仙台市民図書館として障害理解サポーターの修了証を受けた。
- * 市図書館職員研修としてアンガーマネジメント研修を開催した。

◇◆◇「図書館振興計画 2022」に基づく方向性ごとの重点的取組◆◆◇

方向性 1 地域や市民に役立つ図書館となるために

【課題解決に取り組む市民の学びのサポート】

- ・SDGsのゴールを意識した資料の収集を行い、関連する資料の展示やイベントを開催する。

【地域の歴史や魅力の継承・発信と未来の地域づくりへの貢献】

- ・地域の専門機関と連携したイベントを開催する。
- ・郷土資料や、地域の特性を踏まえた電子図書館を運営し、電子書籍コンテンツの充実を図る。

方向性 2 0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館となるために

【乳幼児から読書に親しみ、豊かな感性を育む機会の提供】

- ・地域の専門機関と連携し、0歳から読書に親しめる読書文化を育むきっかけとなる子育て支援事業を実施し、読み手となるボランティアの育成を行う。

【学校との連携の推進と子どもの読書環境・学習環境の向上支援】

- ・GIGAスクール構想を踏まえ、せんだい電子図書館の活用について検討する。
- ・児童やヤングアダルト向けの資料を多く用意するとともに、「朝読書活動」など学校との連携を図り、若年層の利用を促進する。

方向性 3 市民一人ひとりに利用しやすい図書館となるために

【どこに住んでいても図書館サービスが利用できる環境の整備】

- ・電子図書館サービスの充実やアウトリーチ事業の推進等、身近な場所で図書館サービスを利用できる環境づくりを進める。

【あらゆる人に使いやすい図書館サービスの推進】

- ・読書バリアフリー法に配慮し、図書館を利用しづらい方々にもサービスが使いやすいよう、電子図書館、ダイジー資料やマルチメディアダイジーの利用促進を行う。

方向性 4 自らの変革を進める図書館となるために

【図書館資源の適正配分・管理と活用】

- ・費用対効果を踏まえた図書館サービスのあり方の検討を行う。

【図書館サービスの評価・分析を活かした図書館経営】

- ・数値目標を設定した「図書館振興計画 2022」の評価について、数値だけではなく、プロセスを評価できる方法を検討していく。